

# 古川橋保育所について

保 姨 津 久 井 こ し 子  
勝 又 妙 子

朝は早い幼兒は六時半頃から、多くは七時から八時、九時頃登所する者も御座います。

小さい子供達は皆送られて、六七歳になると一人で喜びに満ちた明るい元氣な顔付きをして参ります。兄弟で打連れて兄さんや姉さんが弟や妹の手を引いて嬉しさうに来る者も御座います。これが幼兒の本當の自然の愛で御座いませう。誠に美しいもので御座います。此の愛らしい幼兒を皆が優しく迎へて、髪の亂れてゐる者には結んでやります。朝は顔を綺麗にお洗ひなさいと云ひますがまだ汚れて居る者が随分ありますから洗つてやることに致してをります。一人で洗へる者には洗面器を出してやりますと町寧に洗ひます。誠に可愛もので御座います。

九時になりますと一同は集つて唱歌を歌つたり又は二三の遊戯をやつたり致します。それが済みますと年齢の大きい組は二階の保育室で、小さい組は階下の保育室で訓話やお伽噺話を致します此の間に著物の綻や爪の延やなどを調べて置きます。それが済みますのは大抵十時頃になります。

十時から十一時迄は自由遊で御座います。此の間に爪を切つてやつたり綻を縫つてやつたり致します。此の自由遊の間には幼兒同志の紛争や衝突などの調停、階段上下の危険の見張等で絶へず眼を八方に配つて注意致さなければなりません。然し今日迄大きい怪我のなかつた事は誠に幸に存するもので御座います。

十一時にお室へ這入り手技をして幼兒に考案をさせます。時には幼兒に相應な丁度適當したものを考えへさせることも御座います。鼻汁は常に拭ふてやりますが時々特に出てゐるかどうかを檢べて拭ふてやります。そして皆んな残らす手を清らかな水で洗つてやりお室へ入れて能く落著かせてからお晝の辨

當を開かせます早く終る時と遅くなる時とが御座いますが十二時半頃迄には大抵は済みます。食後の始末をつけて午後一時半迄はお書き込みとして自由な遊びを致させます。トラホーム治療をなしお書き寝を致します者はさせることにして居ります。午後三時頃迄には遅く寝た者でも起きます。それから各組々によつてお室に入れて幼児の好むことを夫々勝手に致します。又大きいのと小さいのを一緒に集めて共同遊戯のお面白い遊びを致すことも御坐います。

三時半になりますとお書きの辨當の時と同じ様に準備をお八つを頂かせます。毎日のお八つも色々と考へてみたり調べてみたりして可成低廉で而かも子供の嬉ぶ様なそうして胃腸を損ねない様な物を中心配致して居るので御座います。お八つが済みますと身仕度をして歸宅の用意を整へさせお室に連れて参ります。そうして今日致しました事や又翌日やることに就ての注意や其の他の事を懇にお話して聞かれます。これが済みますと歸宅致させることになります。家庭によつては母なり姉なり又は其他の者が迎へに來るものがありますが又勞働時間の都合で後に殘る幼兒も御座います。大抵は六時頃迄には歸つ

て行きます。幼児連は待ちに待つた慕ひに慕て居つた親達や兄姉のお迎へに嬉びの笑みに溢れて自然と手を振り足を躍らせて縋つて行く有様は迎への人達をどんなに嬉ばせることでせう。此の様な有様を見ては其の親兄姉の愛情を以て幼児を保育し度いもの又此の大任を全うせねばならぬものと考へぬ譯には參りません。さりとて至らぬ私達は思ふ様にお互に話ををして親達に充分の満足を與へることが出来ないのを非常に殘念に思つてゐるもので御座います。私達が幼児の保育に携つてゐますと日々子供から教へられる事がたくさんあります。本當に幼児は私達の先生の様なものです。保育をやつてをります私達よりも遙に先生です。私達は保姆の使命の實に重いことを感せばには居られません。何時になつたら此の責任を果すことが出来るので御座いませうか此の様に考へますと身の至らぬことを啻に恐縮するの外はありません。然し日々子供から受ける多くの慰みと天真な務めとに、身體の疲れも忘れて毎日變りなく努力を續けて居ります。誠に興味の多い此の務に目醒める毎日の努力を感謝するもので御座います。